

PROFILE



氏名

千葉 由美(Yumi Chiba)教授

模擬授業タイトル

摂食嚥下のメカニズムと機能評価

研究分野

先端成人看護学

基本情報

臨床における看護実践のエビデンスを得ることを優先的目標として行っており、医学・生理学・基礎生物学の知識・技術を踏まえた看護学の発展、及び社会への還元を目指しています。

受験生へのMESSAGE

エビデンスに基づいた看護を展開するためには、患者様やそのご家族の状況に合わせた質の高い系統的な看護実践の遂行が重要です。高度先進医療を見越したプロフェッショナルに向けての学びを是非一緒にいたしましょう。

SCHOOL OF MEDICNE : NURSING COURSE · 医学部 看護学科



英語で看護の実践を積む

アクティブラーニング型 英語教育プログラム

1年次の必修科目である「看護の統合と実践I」において「看護を目指す初学者が国際的視野を持ち看護に対する理解を深めることができる」ことを目指し、アクティブラーニングの手法を取り入れながら英語による実践的教育を行っています。この授業では、Practical Englishセンター(以下、PEセンター)や外国人模擬患者の協力を得て経験型学修を取り入れた講義・演習を行い、看護実践におけるコミュニケーションの重要性、英語によるコミュニケーションを学びます。看護学科1年生全員が、前期はシナリオに基づき患者さんの立場で、後期は医療者の立場で医療コミュニケーションを学びます。最終的に外国人模擬患者を相手に、学修した英語による医療コミュニケーションを活用した看護を実践し、外国人模擬患者から学生に評価表を用いてフィードバックをもらいます。



外国の看護学部で学び、医療現場を体感する

ハワイ看護研修プログラム

3年次には8日間、米国ハワイ州において英語と海外の看護学部の授業や医療現場で学ぶプログラムが用意されています。ハワイ・オアフ島に滞在し、そこでは看護英語と英語によるプレゼンテーションスキルを学びます。同時にハワイ大学マノア校看護学部の演習授業に参加、外国の看護教育の現場に触ると共に現地学生との交流を通じて国際的コミュニケーションスキルも培います。さらに、病院見学を通じた米国医療・看護の実際を見学し、現地専門看護師による講義、フィールドワーク等を行ながら、国際看護の知見を深めています。また、本プログラムでは現地での学びをより確かなものにするため、出発前にPEセンターの看護師資格をもつネイティブ英語講師による「英語学習会」を毎週実施。学習会では医療看護英語だけではなく、コミュニケーション、ディスカッション等のスキルアップを目指します。